南山大学　人間関係研究センター秋の公開講演会（無料）

生命場の自然治癒力と場の論理

-かかわりという場のちからと21世紀日本人の発想-

2004年11月11日（木）　午後6時30分～8時30分

南山大学名古屋キャンパス　D棟

いのちの時代　医療医学からの場つくり
現代社会システムの場つくり
教育・文化の場つくり
人と人の　つながりのちから・かかわりのちからで、
個も生き・全体（組織）も生きる、
そんな豊かな世界をめざした人間関係研究センターに集う人々の再考の機会となるでしょう。

身体性（からだ）、精神（こころ）、霊性（いのち）。この三つが渾然一体となった人間まるごとを対象とするのがホリスティック医学です。20 世紀人類は、医学はもちろん、西欧型世の中の全ての分野で身体性について大きな成果を挙げました。21 世紀は精神性、霊性といった側面を含めたアプローチが望まれるところです。

生命を清水博氏（場の研究所所長、元東京大学薬学部教授）は「自ら秩序を創出する能力」と定義しています。いのちは“場”のポテンシャルエネルギーです。場が存在すればそこには必ずいのちがあるのです。そしていのちのエネルギーが何らかの原因によって低下した時、これを回復する場に備わった能力を“自然治癒力”とよび、自らの意志でこれを回復することを“養生”、他からの働きでこれを回復することを“癒し”と我々はよんでいるのです。

講　師：日本ホリスティック医学協会会長・帯津三敬病院名誉院長　**帯津（おびつ）　良一（りょういち）　氏**

1936 年埼玉県生。東京大学医学部卒　医学博士。東京大学第三外科、共立蒲原総合病院、都立駒込病院外科を経て、1982年帯津三敬病院設立、名誉院長。中国医学をふまえた「養生」塾を、2004年帯津三敬塾クリニック院長として創設（東京）。西洋医学とあわせて、気功、漢方薬、食事療法など東洋医学や、心理療法などを実施し、ホリスティックなアプローチによるがん治療で名高い。埼玉医大講師、上海中医薬大学客員教授なども務める。南山大学人間関係研究センター開所 2000 年度ホリスティック生命論ワークゲスト講師。著書＝『あなたを健康に導く「生命場」の法則』、『蘇る生命場』（スリーエーネットワーク）、『ホリスティック医学の治癒力（監修）』（法研）、『がんは心で癒せる』（大和出版）、『<気>と呼吸法』（春秋社）等多数。

協力　：　場のアカデミー　ほのま　東海ホリスティック医学振興会

～ 参加費は無料となっておりますが、準備の都合上、ご参加の場合は下記までご連絡下さい。～

南山大学 人間関係研究センター　〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
TEL：052-832-5002　・E-mail　：ninkan-c@nanzan-u.ac.jp
FAX：052-832-3202　・Homepage：http://www.nanzan-u.ac.jp/NINKAN/

※ Fax、E-mail の場合は「氏名」、「人数」、「連絡先（E-mail 又は電話番号）」をお知らせください。